

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年6月10日（月）

2 確認箇所

雑固体廃棄物焼却設備（図1）

3 確認項目

雑固体廃棄物焼却設備の稼働状況

4 確認結果の概要

雑固体廃棄物焼却設備における廃棄物の処理状況について、制御室及び現場を確認するとともに、東京電力へのヒアリングを行った。

その結果、運転は適正に行われていた。詳細は以下のとおり。（前回調査日：令和6年1月26日）

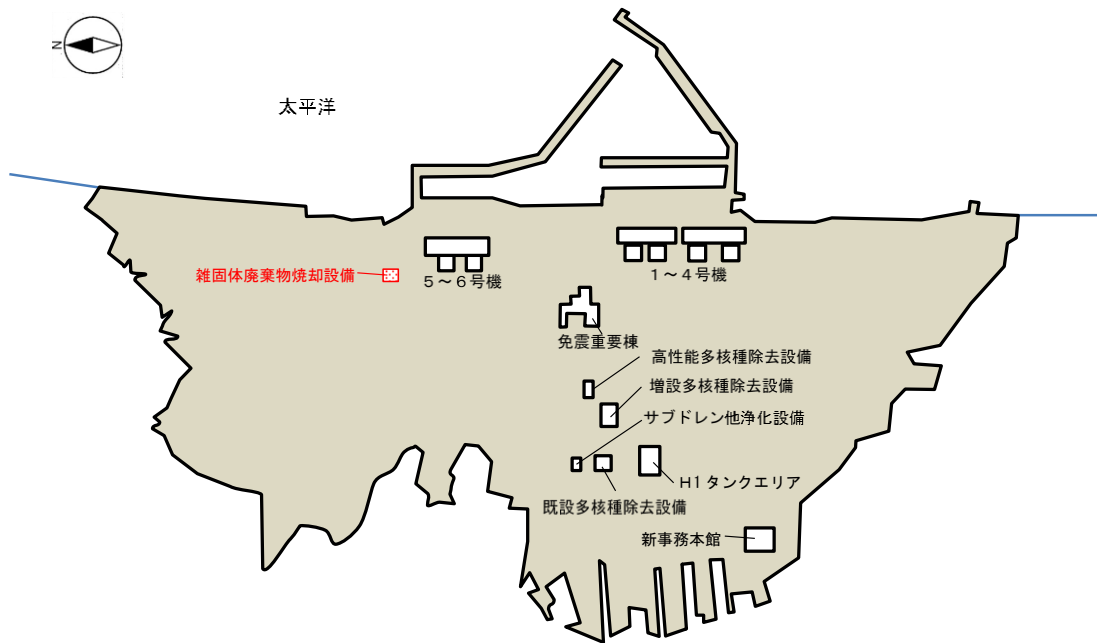
（1）東京電力へのヒアリング結果

- ・焼却炉はロータリーキルン方式であり、処理能力は1系統あたり最大300 kg/h。（写真1）
- ・焼却施設は各環境法令等の基準に従い運転管理している。
- ・現在稼働しているのはB系のみ。A系は炉内圧力上昇による異常が生じた（令和6年5月10日）ことから、原因調査のため定期検査を前倒して行っており、運転を停止している。
- ・焼却する廃棄物は、管理区域内で生じた防護服、手袋、マスク及び雑可燃物（作業靴、レジ袋、養生シート等）。
- ・焼却残渣（焼却灰及び飛灰）は、ドラム缶に充填し固体廃棄物貯蔵庫で保管している。

（2）現地確認の結果

- ・運転は3人体制（委託業者）で行われており、東京電力社員が常駐していた。（写真2）
- ・焼却は炉内温度が適正に保たれた状態（800℃以上※）で管理されていた。
- ・廃棄物はパレット（メッシュ製カゴ）にポリエチレン袋に入れられた状態で充填され、自動運転で焼却炉に投入されていた。（写真3）

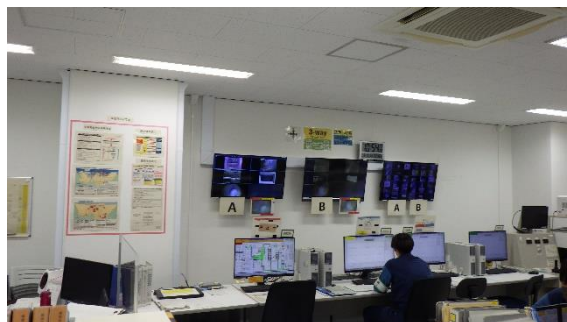
※廃棄物処理法に規定する焼却施設における処分基準



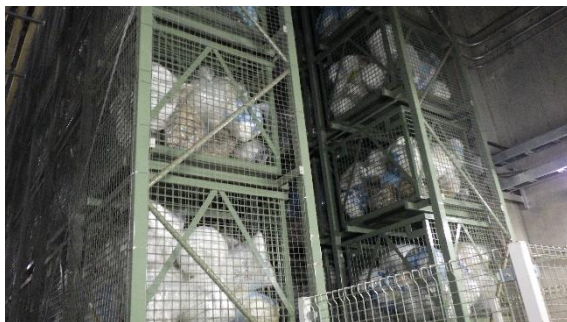
(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1) 焼却炉外観



(写真 2) 運転管理状況



(写真 3①) 廃棄物パレット



(写真 3②) パレット内の廃棄物

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。